

# 根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2019/2/16 実施)～

参加者: 4名

池のヨシ群に、まるで『ヌシだぞ』というようにアオサギが陣取っており、周りをカルガモがとりかこんでいる。カルガモはアオサギの『トリマキ』か？

ヤブミョウガのあったあたりで緑の葉が目についた。葉裏には胞子がみられ、シダ類らしい。ここでは初めて見た。(後でヤブソテツらしいと判明)他にヤエムグラ、ムラサキケマン、ウシハコベ、ハコベ、セリ、ヨモギ、ソクズ、ヘビイチゴ、カキドオシなどの新しい葉が見られた。こんなに寒くても、春の準備はすすんでいるようだ。土塊ばかりの田んぼにもタネツケバナ、タガラシが株を広げていた。畦の日当たりの良いところにはオオイヌノフグリの青い花やヒメオドリコソウ、オランダミミナグサが咲いていた。湿地の中を回っている我々のあとを追うようにカルガモがやってきて水面に着水する。今日はカルガモが沢山姿を見せてくれた。ヨシ群にはシジュウカラ、アオジが入っていて盛んに鳴いている。おやおや、アオジが1羽、続いて2羽とびだして枝にとまった。続いていくつかとんできては、またヨシの間に戻っていく。1羽のアオジがス～と向こうへとんだ。すると次々に後を追っていく。まるでアオジのファミリーのようだ。ウグイスのさえずりも聞こえると思ってみたら、ヨシの枝先に姿を現した。ウグイスの姿確認！次にはツグミもとんできて、梢にとまる。

昨日は雪が舞ってとても寒かったが今日は陽ざしがあり、少し暖かいせいか鳥たちも活発だ。斜面のコブシは芽をつけているが、フジのつるが巻き付いて苦しそう。ニワトコも芽吹いた。アセビはすでに花をつけているものもあった。広場のロウバイは盛りをすぎているが、芳香を放っている。それに比べ今年の梅は花の付き具合はよくないようだ。広



オオイヌノフグリ

場のコブシの芽も少ない。モズ(♂)がアジサイの枝先に来た。地面にはツグミが現れた、とってみていたら、背中が茶色で、胸は白っぽい。どうやらシロハラのような動きは、チョコチョコと進んでは止まる、というツグミそっくりの様子なので見間違えるところだった。シロハラもツグミも仲間同士、動きが似ていても当然かもしれないが、シロハラは藪中でゴソゴソやっているという観念だったから、こうしてツグミのように歩きまわることもあるのだなあと思った。久しぶりの観察会だったが、春の足音を感じることができて楽しかった。

3月の湿地の観察会は、、、

**3月16日(土) 9:30 駐車場集合** (小雨決行) です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。  
お問い合わせは下記メールまでお願いします。

[akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com) (相澤)